



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
9月29日
発行

第193回

「Gゼロ後の世界」

～イアン・ブレマーの警告～

初めに

今年8月から9月にかけてBRICS、ASEAN、G20などの国際会議が相次いで開催されました。南アフリカ（以下、南ア）で開催されたBRICSの首脳会議では、現在のブラジル、ロシア、インド、中国、南アの5ヶ国に加え、新たに6ヶ国が加盟すると発表されました。加わるのはイラン、サウジアラビア、アルゼンチン、エジプト、エチオピア、UAEで、拡大後はBRICSプラスと称する、としています。6ヶ国のうち5ヶ国が中東アフリカに位置する国です。米国の指導力が弱まった地域で影響力を広げたい中国の意図が見えますが、振興・途上国を指す「グローバルサウス」の存在感を高めることになっています。

グローバルサウスの台頭

グローバルサウスの中で最も成長著しいのはインドです。民主的な選挙で選ばれ国民から高い支持を得ているモディ首相の下、2022年度GDP成長率は7.2%と高い経済成長を誇り、宇宙開発では史上4番目となる月面探査を成功させました。ニューデリーで開催されたG20では議長国としてグローバルサウスの盟主を自任し存在感を発揮しました。南アや、来年のG20の議長国であるブラジルも、それぞれの大陸の雄として存在感を高めていくと思います。拡大後のBRICSプラスは、世界のGDPに占める割合がG7を上回ります。ただ、G7が自由、民主主義、法の支配、市場経済といった共通の価値観や理念に基づいているのに対し、BRICSにはそれがありません。米国や中国への対応も様々で、足並みは揃っていません。あるとすれば、長引くウクライナ戦争や新エネルギーへの転換の中、欧米主導の国際秩序から取り残されていると感じ、グローバルサウスの利益を探る新しい国際秩序を求めている、ということでしょう。

不安定化する世界

ところで、「Gゼロ」とは国際政治学者イアン・ブレマー氏が提唱した概念ですが、今後の世界は国連や米露など突出したリーダーのいない世界へ移行し、その結果、世界は混沌とした不安定なものになる、とでもいえばいいのでしょうか。

高まる地政学リスク

こうした中、地政学リスクは高まることになると思います。ウクライナ戦争は大方の見方に反して長期化していますが、まだ終わりは見えません。また、岸田首相は東アジアの緊張に備えて防衛力強化のため、33ヶ所の空港・港湾を拡充する新たな措置を発表しました。米国では原油価格が高騰しています。主因は在庫減ということですが、戦略物資としての原油需要も原因の一つと見ています。

株式市場への示唆

このような状況の中、株式投資においては三菱重工や川崎重工、三菱電機など防衛関連や資源株に注目することも一策かと思えます。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。